家族で読むページ

専門家庭教師の眼 2025 3

秋もノンストップで合格へ疾走しよう

協力 麻布個人指導会

夏休みが終わりました。猛暑の影響はもちろん、塾の夏期講習がハードスケジュールで疲れがまだ取れていない受験生も多いと思います。ですがこうしている間にも受験は一日一日と近づいており、気は抜けません。

今回は夏休み明けの今の時期、受験生に取り組んでほしい勉強について当会2名の講師がアドバイスを送っています。過去問演習に忙しい時期だと思いますが、参考にして取り入れてみるのもいいのではないでしょうか。

喜多 優（きた ゆたか）講師

大手進学塾での指導歴を含め、中学受験への関わりは20年を超える。主要塾の特性に精通しており、過去問研究にも毎年熱心に取り組んでいる。苦手分野克服のために一人ひとりに個別教材を準備して指導に臨むなど、面倒見の良さと堅実な指導で家庭からの評価が高いベテラン講師の一人。

最近の合格実績

麻布、武蔵、女子学院、雙葉、豊島岡女子、海城、早稲田、早稲田実業、渋谷渋谷、明大明治、法政大、中央大附属、立教池袋、吉祥女子、東洋英和、栄東、東邦大東邦、市川など。

算数　残り4か月、本番を見据え取り組み方を変えていこう

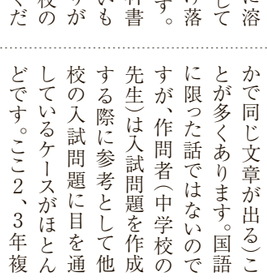
●ひと手間加えて過去問に取りかかろう

受験生は志望校の過去問に取りかかり始めた時期です。最初に過去問の取り組み方からアドバイスをします。まだ実力がつききっていない段階ですので、さほど点数を気にする必要はありません。目標設定としては、過去問集に掲載されている合格最低点から割り出します。（例えば算数が100点満点、4教科合計300点満点で、合格最低点が180点だった場合、算数の比率は100／300で1／3です。180点に1／3をかけて60点が目標の目安になります。）

次に、演習時の計算スペースについてです。学校でもらえる実際の入試問題を見るとわかりますが、書店で売られている過去問集と比較するとかなりの余白があります。狭いスペースに図や式を書くのではなく、大問一つにつきB5サイズの計算用紙1枚を使うくらいの意識で取り組んでください。

●その過去問の直し、本当に全部必要ですか？

過去問を解いた際の得点はもちろんですが、解き直しも同様に重要です。今の時期は時間がかかってしまい、直しがたまってしまうお子さんが多くいます。男女御三家やそれに準ずる難関校では、捨て問が出題されていることも多く、その直しに時間を取られてしまうのは無駄につながります。途中までで良しとするか、全て直すべきかの判断は非常に重要です。そこに関しては塾の先生や家庭教師をぜひ頼って相談してください。



●方針さえ決まれば解ける問題こそ得点源

この時期に算数で伸び悩むお子さんで意外に多いのが「これまで難なく解けていた小問集合で正解できなくなる」というパターンです。例えば「差集め算」とタイトルが明記されていれば問題が解けるのに、同じレベルの類題が模試や過去問の小問集合の中にぽつんと出てきた場合、方針が思い浮かばずに解けなくなってしまうのです。どの特殊算の解法を使うのか、瞬時に判断する訓練が必要です。受験予定にない学校の過去問の小問集合でもよいので、演習して経験値を積みましょう。ただ、塾で習った解法と過去問集の解法が一致しないこともあります。今までのノートを見返して、要領よく解けるようにしてください。

●半分寝ていても解ける問題は朝勉強に回そう

これからの勉強では、時間効率も非常に大事です。塾の宿題や過去問演習など、どうしても夜遅くまで時間がかかってしまうこともあります。そのためにも朝の時間を有効活用したいところです。過去問の直しや塾の宿題など、「重め」の勉強を朝からしているお子さんも見受けられます。直前期なら早朝でもしっかり頭が働く状態になっているのが理想です。今まで朝勉強をしていないお子さんには身体を慣らす意味でも、計算問題や一行問題など「寝起きでぼんやりしていても何とか解ける」レベルのものから取り組みましょう。徐々に早朝でも頭が働くようになっていきます。

理科　暗記事項の定着は要領よく　身近な所に理科のネタあり

●過去問演習の際には必ず「敵を知る」

過去問演習の一環として、志望校の出題傾向をチェックする作業は欠かさないでください。理科は4分野からまんべんなく出題される学校と、例えば「天体など地学分野が出題されない」など出題単元がはっきりしている学校に分かれます。志望校が後者の場合は今のうちに傾向を頭に入れておきましょう。

解き直しに関しては、間違えた問題の要点をメモする習慣をつけるようにしましょう。岩石でよく問われる「レキ岩・砂岩・泥岩」の定義で、それぞれ「レキ岩は粒子の大きさが2ミリ以上、砂岩は1／10ミリから2ミリ、泥岩は1／10ミリ未満」となっています。それぞれ覚えてもいいのですが、砂岩の条件だけ覚えてしまえば、それより粒が大きいのがレキ岩、小さいのが泥岩となりますので、要領よくメモし、暗記するのが得策です。

●入試の題材は身近な所にも潜んでいます

テキストに載っているものだけでなく、身の回りの理科にも注意しておきましょう。例えば結晶をつくる実験でよく出てくるミョウバンは、なすの漬物を鮮やかな紫色に仕上げたり、ウニの身をミョウバンの溶けた水で洗うことで型崩れを防いだり、様々な用途で使われています。また、重曹は粒子が小さく水に溶けにくい性質を利用して鍋やフライパンの焦げ落としに使われています。こういった知識は教科書で吸収するのが難しいものです。時間にゆとりがあるなら、色々な学校の過去問を解いてみてください。テキストレベルではない一ひねりされた理科の問題は入試に度々出てきます。入試問題を解いて身に付けていくのが最良の方法です。

国語　1問でもできる問題を増やす　有意義に秋を過ごしていこう

原 静香（はら しずか）講師

私立中高での講師経験を積み、現在は専門家庭教師として活躍中。明るい人柄とお子さんに寄り添った熱心な指導が人気の講師。中堅校レベルから難関校レベルまで記述問題に対する指導ノウハウも豊富で、入試で文系科目を得点源として志望校合格を掴み取ったお子さんも多数。

最近の合格実績

女子学院、雙葉、駒場東邦、早稲田実業、早稲田、海城、豊島岡女子、桐朋、巣鴨、芝、暁星、学習院、吉祥女子、鷗友学園、白百合学園、学習院女子、頌栄、香蘭など。

●詩、短歌、俳句……覚えていますか？

夏期講習が終わり、志望校の過去問へのチャレンジも始まっていると思います。過去問は模擬試験と同じように「演習よりも直しが重要」と言われたかもしれませんが、今は直しよりも演習量にこだわる方が良いです。過去問を解き始めて「この学校は記述問題の出題が多い」とか「選択肢2つの文章が長い」など、それぞれの学校の出題傾向に気づくことが大切です。あと、短歌や俳句、詩などの韻文が出題される学校は要注意です。塾のテキストで扱われる回数が少ないので、表現技法などあいまいになっているお子さんは少なくありません。韻文が毎年必ず出題される学校もありますので、志望校がそのパターンの場合は5年生のテキストを必ず見直しておきましょう。

●入試頻出の文章に触れるのも有効です

最近の入試では、出題される文章が偏る（何校かで同じ文章が出る）ことが多くあります。国語に限った話ではないのですが、作問者（中学校の先生）は入試問題を作成する際に参考として他校の入試問題に目を通しているケースがほとんどです。ここ2、3年複数校で出題されているトレンドの作品を時間に余裕があるときに読んでおくと便利です。（熟読する必要はなく、物語文にしても説明文にしても大体どんな話だったか把握していればOKです。塾のホームページなどでどの作家の文章がどの学校で出題されたかわかります。）「以前読んだ文章だ」とわかるだけで本番の入試で初見の文章に相対するよりもだいぶ精神的に楽になりますし、落ち着いて設問に取り組めます。6年の受験生だけではなく、5年生以下のお子さんにもお勧めです。

●知識問題はさぼらずに取り組むべき

漢字の書き取りや読みなど、知識問題は模試や入試で貴重な得点源になります。知識の勉強を疎かにしているお子さんは「読解問題で挽回すれば良い」と開き直ることもあります。どの教科でも言えることですが、正答率の高い問題で取りこぼしてしまうと、その差を挽回するには正答率の低い（＝難しい）問題で得点しなければならず、苦戦を強いられます。知識はこれからでも十分間に合います。塾で使っているものでも市販のものでもかまいません。朝勉強で1日2、3ページくらいのペースで毎日しっかり頑張ってみましょう。入試まで1冊を何周も解いて徹底的に定着させてください。（1周目で全問解き、2周目は間違えた問題だけ、3周目でも一度全問解くのがお勧めです。効率的に進めましょう。）問題集1冊にこだわるのは不安に感じるかもしれません。2冊3冊と手元に置いておきたくなりますが、どれも中途半端にしてしまうよりは1冊「これ」と決めて取り組んで何周もする方が効果が上がります。

社会　重要語句の暗記では不十分　より深く考えて力をつける

●入試をにらみ融合問題に慣れよう

夏期講習も終わり、地理・歴史・公民と3分野の学習が一通り終わっている受験生が多いと思います。実際の入試では二つ以上の分野が融合した形式で出てくることが多いです。その中でも「歴史に出てくる地理」は要チェックです。かつて日本の都が置かれた場所（藤原京、平城京、長岡京、平安京）と壇ノ浦、桶狭間、関ケ原の「日本三大古戦場」は入試で頻出ですが、意外に関ケ原の場所を把握できていない受験生を毎年多く見かけます。源氏と平氏の戦いの終盤（一ノ谷から屋島、壇ノ浦の戦いに至るまで）と合わせて、場所を確認しておきましょう。歴史の復習（知識の再インプット）をする際にも隣に地図帳を広げておく習慣をつけましょう。

●暗記にとらわれず考える姿勢を持つ

来年の入試において時事で問われる可能性があるのが「米不足」の問題です。昨年夏の猛暑と少雨、減反政策による米農家と作付面積の減少など様々な原因が米の収量低下にはあります。政府は備蓄米を放出して米価格を落ち着かせようとしましたが、消費者と生産者それぞれの観点で、備蓄米の放出に関してどのような意見があるかまとめてみましょう。（消費者の立場では安く米を買える方がありがたいのですが、生産者としては高く売りたい。）このように二つの物事を相対する二つの視点で考えさせる問題はここ最近の流行りでもあり、注意が必要です。農水産業の出題では統計資料が掲載されていることが多いのですが、昨年、一昨年に勉強したテキストと最新のデータで収穫量のランキングが異なっていることがあります。「e-Stat」（政府統計のポータルサイト）では、産業データだけでなく年齢別の人口データなども最新のものが確認できるので便利です。活用してみてください。

教務の現場から④

●暑い夏の思い出

子どもの頃、夏休みで暇ができると市民プールによく行きました。広いプールで遊ぶよりも、その後に近くのお店で食べるかき氷が目的でした。（ちびまる子ちゃんのオープニングに出てくる駄菓子屋さんを想像してください。）日よけのすだれがかかっていて、店の前にベンチが置いてあるだけの質素な造りだったのを覚えています。周りの友達は「いちご」「メロン」「レモン」とその都度違う種類を頼んでいたのですが、自分はいつも決まって「ブルーハワイ」。どんな味だったか忘れてしまったのに、人工着色料バッチリのあの綺麗な青色だけが記憶に残っています。今ではかき氷もコンビニでカップ入りが買える時代ですが、炎天下で食べたあの日のかき氷が忘れられません。

6年生は夏という大きな山を越え、受験に向けてラストスパートにかかります。子どもらしい夏休みは来年にお預け。思い切り楽しめるように、あと4か月頑張りましょう！

教務：奥野

学生は一切派遣していません

創立39年 中学受験の専門家庭教師を派遣いたします

264校にのべ748名の受験生が合格いたしました

2025年 中学受験合格実績（五十音順）

男子 ～133校のべ386名の輝くゴール～

青山学院	2名	成城	6名
浅野	6名	成城学園	2名
麻布	6名	世田谷学園	4名
市川	7名	専修大松戸	4名
栄光学園	2名	高輪	5名
海城	5名	中央大附属	3名
開成	3名	筑波大駒場	2名
開智	7名	東京都市大付属	8名
学習院	4名	桐朋	3名
暁星	2名	東邦大東邦	6名
慶応湘南藤沢	1名	獨協	6名
慶応中等部	2名	都立小石川	1名
慶応普通部	3名	都立白鷗	1名
攻玉社	6名	日大二	4名
国学院久我山	5名	広尾学園	3名
駒場東邦	5名	広尾学園小石川	3名
栄東	17名	法政大学	3名
サレジオ学院	3名	法政第二	3名
芝	9名	本郷	7名
芝浦工大附属	2名	武蔵	2名
渋谷教育渋谷	4名	明大中野	6名
渋谷教育幕張	4名	明大明治	3名
城北	7名	立教池袋	2名
巣鴨	7名	立教新座	6名
逗子開成	3名	早稲田	5名
成蹊	2名	早稲田高等学院	3名
聖光学院	4名	早稲田実業	2名
			他多数合格

女子 ～131校のべ362名の輝くゴール～

青山学院	2名	白百合学園	2名
青山横浜英和	3名	成蹊	4名
跡見学園	4名	成城学園	3名
市川	6名	洗足学園	4名
浦和明の星女子	5名	中央大附属	4名
桜蔭	2名	中央大附属横浜	2名
鷗友学園	5名	東京女学館	7名
大妻	7名	東邦大東邦	6名
大妻中野	5名	東洋英和	6名
学習院女子	4名	豊島岡女子	6名
神奈川大附属	3名	都立武蔵	1名
吉祥女子	6名	日本女子大附属	2名
共立女子	7名	広尾学園	4名
慶応湘南藤沢	2名	広尾学園小石川	2名
慶応中等部	2名	フェリス女学院	2名
恵泉女学園	3名	雙葉	4名
晃華学園	2名	普連土学園	6名
香蘭女学校	6名	法政大学	3名
国学院久我山	3名	法政第二	3名
栄東	13名	三田国際科学	3名
実践女子学園	6名	三輪田学園	4名
品川女子学院	2名	明大明治	2名
渋谷教育渋谷	4名	山脇学園	6名
渋谷教育幕張	2名	横浜共立	2名
淑徳与野	2名	横浜雙葉	3名
頌栄女子学院	5名	立教女学院	4名
女子学院	4名	早稲田実業	2名
			他多数合格

※受験まで指導しなかったケースや、夏期、冬期だけの短期の在籍生は含んでいません。
※ホームページには他の合格校も掲載していますので、ぜひご覧下さい。

◆受験生専用 志望校突破コース◆

入会金不要で入試まで指導します

中学入試まで4か月余りとなりましたが、まだ成績と志望校とに開きがある受験生も多いのではないでしょうか。専門家庭教師が何を重点的にやるべきか、過去問はどのように進めたら効果的かなど、入試の得点に直結する指導をいたします。教務スタッフが事前に状況と講師に対するご要望をお伺いし、適任の講師を派遣いたします。今後の取り組み方で合否が決する勝負の志望校対策にお役立て下さい。

Point 1 入会金不要で入試まで志望校対策を行います

Point 2 体験授業はありません 講師の交代はできます

Point 3 指導料は月毎の後払い 教材費はかかりません

①小6受験生対象で2026年入試まで指導期間を問わず入会金は必要ありません。
②指導料は1時間あたり6,600円～9,900円(税込)となります。この幅は各講師の経験・実績の差によるものです。ご要望をお聞きした上で人選いたします。
③指導料は月ごとの後払いです。実際に行った指導時間分を翌月にご請求いたします。その他、講師の交通費(実費)以外の費用は一切ありません。
④指導は1回2時間でご希望の教科(複数教科可)で受講できます。また、オンラインでの受講も可能です。
⑤体験授業はありません。万一、講師が合わなかった場合には、改めて別の講師を人選いたします。また、途中で講師の交代もできます。なお、指導はいつでもストップでき、解約金などはありません。その時点までに行った時間分の指導料と交通費のみのご請求となります。

◆ 通常コースのご案内 ◆

指導料は完全な後払い

●入会金 33,000円 → 19,800円(税込)
［一家族無期限有効 / 兄弟姉妹の方不要］
●月額指導料 52,800円～79,200円(税込)
［週1回（各2時間）の授業で月4回の場合］
※入会金は体験授業でご納得いただいた後のご請求です。
※指導料の範囲は講師の経験・実績によります。
○講師の交通費は実費となります。
○長期前納、ローン、チケット、預かり金、教材の販売、退会の場合の解約金は一切ありません。

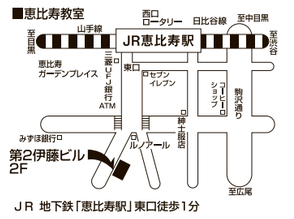
入会の制約のない体験授業

■体験授業は入会が条件ではありません。体験授業で授業内容を判断してご入会の可否をお決め下さい。
■体験授業は担当講師で行います。体験授業だけの講師ではありません。
■指導料、交通費、教材費等一切が無料です。
■体験授業は1時間30分ですが、前後に講師とお話しする時間もお取りいたしますから、合計2時間程度の時間をお考え下さい。
■体験授業、ご入会後の授業ともに、オンライン授業のご希望にも対応しております。

―来年度創立40周年―
入会金 40%割引実施!
税込 33,000円 ▶ 19,800円

麻布個人指導会は来年度、創立40周年を迎えます。その節目を迎えるにあたり、入会金40%割引キャンペーンを実施いたします。
講師一人ひとりの経験・実績・人柄等の質と、全体としての層の厚さが創立以来培ってきた当会の最大の強みです。現状に少しでも不安があれば、この機会にぜひご相談下さい。これまでも、そしてこれからも中学受験を支える家庭教師を派遣いたします。

完全1対1個人指導教室



●中学受験専門家庭教師派遣
麻布個人指導会

●固定電話から
0120-14-3004

●携帯電話から
03-3440-1940

《受付時間》朝7:30～夜8:00（日・祝除く）※当会は朝7:30より業務を行っております。朝早い時間でも、ぜひご遠慮なくお問い合わせ下さい。

●HPで最新情報更新中
麻布個人指導会 検索

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-13-6-2F